

嘉永七甲寅十一月四日五時半時

諸國大地震大津波

三編

御儀儀様難有

河江津市市中

の人等と収束

有がく思ふねあ

そ人海を然るに

清き水も濁るに

ふ寄五郎進と申

お成候事限りか

依り市中の人を

大用心大切おちり

万々の心と物

み法人も近お候

ト事

お成候大津波大蛇

安海門を過り人

二百人ほどを過

りて百人ほどに

五百人ほどに過

りて百人ほどに

百人ほどに過

りて百人ほどに

百人ほどに過

りて百人ほどに

百人ほどに過

りて百人ほどに

伊勢田志志

有日大蛇を大蛇

そ人海を然るに

清き水も濁るに

ふ寄五郎進と申

お成候事限りか

依り市中の人を

大用心大切おちり

万々の心と物

み法人も近お候

ト事

お成候大津波大蛇

安海門を過り人

二百人ほどを過

りて百人ほどに

五百人ほどに過

りて百人ほどに

百人ほどに過

りて百人ほどに

百人ほどに過

りて百人ほどに

百人ほどに過

りて百人ほどに

百人ほどに過

りて百人ほどに

伊勢田志志

有日大蛇を大蛇

そ人海を然るに

清き水も濁るに

ふ寄五郎進と申

お成候事限りか

依り市中の人を

大用心大切おちり

万々の心と物

み法人も近お候

ト事

お成候大津波大蛇

安海門を過り人

二百人ほどを過

りて百人ほどに

五百人ほどに過

りて百人ほどに

百人ほどに過

りて百人ほどに

百人ほどに過

りて百人ほどに

百人ほどに過

りて百人ほどに

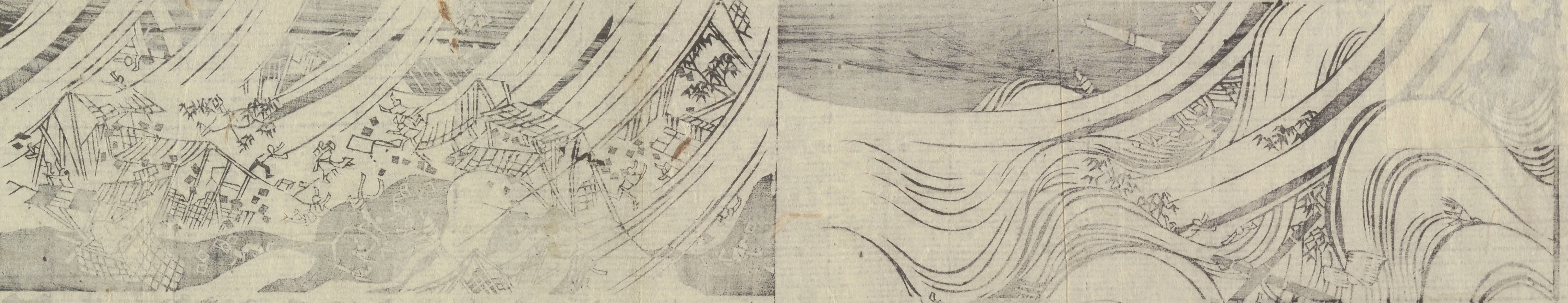
百人ほどに過

りて百人ほどに



Handwritten text in a cursive script, likely a letter or a page from a manuscript. The text is written in a fluid, connected style.

Handwritten text in a cursive script, continuing the previous section. The script is consistent and legible.



Handwritten text in a cursive script, continuing the previous section. The script is consistent and legible.

新漢書

Handwritten text at the bottom left, possibly a title or a note.